

(4) 上記（「(1)～(3)」）以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入（1994年度）
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有（2001年度）
- ・「全学的一斉授業公開（オープンクラスウィーク）制度」導入（2003年度）
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、後援会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学修相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること
- ・初年次教育へのCA（class assistant）制度の導入（2015年度）

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2019年度 派遣2名（台湾1名、韓国1名）・受入11名（台湾6名、韓国2名、ベトナム3名）
- ・認定留学制度
2019年度 派遣5名（中国1名、韓国2名、ニュージーランド1名、ベトナム1名）

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国（地域）はニュージーランド。
日程：2020年2月15日（土）～3月8日（日）
参加状況：21名

<オフキャンパス研修>

- ・開発途上国における開発課題ならびに日本や先進国がどのような開発援助を行ってきたかについて学ぶプログラム。研修実施国（地域）はバンコク（タイ）。パンヤープワット経営大学（PIM）の学生との交流、タイのセブンイレブン、大塚製菓の工場調査、タイの文化遺跡について学ぶ。
日程：2019年8月27日～9月2日
人数：21名

<異文化理解>

- ・1年次夏季を利用して、現地での交流体験を実施。期間は3日程度。研修実施国（地域）は香港。
日程：2019年9月3日～9月6日
人数：18名
実施について：逃亡犯条例改正案に反対するデモの激化により中止

<海外の提携校>

- ・台湾・・・国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国・・・東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国・・・南開大学、東北財経大学、大連開示大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、南京大學外国部、四川外國語大學、天津商業大學
- ・ベトナム・・・貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学
- ・タイ・・・カセサート大学、ブラパー大学、パンヤープワット経営大学
- ・ニュージーランド・・・ワイカト大学
- ・アメリカ・・・ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド・・・バーサ大学

<留学生支援課>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向けて進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各種支援を行なうために留学生支援課が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2019年度）>

・第3回神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1 グランプリ）

概要：トーラク株式会社の協力のもと『神戸プリン』をもっと地元の人に愛される商品にするには？」をメインテーマに実施。本学からは33チームが参加。市場調査やアンケート調査に基づいたユニークで知恵を絞った提案が行われた。ムササビ（清水ゼミ 4年生）が準優勝、プリンアラモード∞（後藤ゼミ 2年生）が特別賞を受賞。

連携先：トーラク株式会社

日程：2019年9月～2020年1月

参加状況：3大学（本学・神戸芸術工科大学・兵庫県立大学）1高校（神戸商業高校）、44チーム・219名

・Student Innovation Colleague（Sカレ2019）

概要：25大学29ゼミ392名の3年生が、ゼミ対抗で、8テーマの商品企画をFacebookで公開し「いいね！」で支持を集め、コメントを改善し、発売を目指す。本学では、2008年より後援団体としてSカレを応援しており、2019年度、本学は「商品企画」に興味を持った14名が集まる清水ゼミ、「顧客の体験価値」の探求を第一に考える東ゼミが参加。

連携先：Sカレ委員会

日程：2019年10月～12月

参加状況：全国25大学29ゼミ392名（参加大学：大阪市立大学、関西大学、関西学院大学、京都産業大学、近畿大学、甲南大学、神戸大学、駒澤大学、滋賀県立大学、滋賀大学、専修大学、高崎経済大学、中京大学、中村学園大学、名古屋市立大学、南山大学、日本大学、兵庫県立大学、法政大学、武蔵野大学、目白大学、立命館大学、流通科学大学、和歌山大学、山口大学）

・淡路仁井地区社会貢献事業（Nプロジェクト）

概要：淡路島仁井地区の地域活性化を促進するプロジェクト。廃校となった小学校を使用し、学生主催の夏イベント「こんないいところ！仁井まつり」の企画・運営、及び地元住民主催の冬イベント「冬のふろさと文化祭」をサポート。地元の人々との交流を深めながら、仁井地区のまちおこしに取り組んだ。

連携先：淡路市仁井地区連合会、日本グローバルアカデミー、淡路市役所商工観光課、淡路島観光協会

日程：2019年4月～2020年3月

参加状況：97名（岩崎ゼミ・中山ゼミ・高田ゼミ・辻本乃理子ゼミ・上田真由美ゼミ・大島ゼミ）

・奈良県吉野町に関するプロジェクト

① 地域コミュニティ活性化のためのカフェ経営

概要：高齢化の進む限界集落（奈良県吉野町山口地区）にて、人と人とのつながりを創造するカフェを開く地域活性化プロジェクト。学生自らがカフェの店内装飾、商品提案、価格設定、当日までのプロモーションを実施。2015年から柏木ゼミの提案により開始。今年で5回目。

日程：2019年4月～2019年7月

参加状況：15名（柏木ゼミ 3年生）

② 吉野町コミュニティデザインプロジェクト

概要：「若者が吉野を訪れるために何が必要か」をテーマに立案した住民参加型の活性化戦略：若者が地域に溶け込み、吉野町の日常の暮らしを体験できるホームステイという宿泊スタイルのサービス提供を地域住民とともに実施。

日程：2019年4月～2020年2月

参加状況：13名（森藤ゼミ 3年生）

③ 吉野町ホームステイプロジェクト

概要：3年生が実施した「吉野町コミュニティデザインプロジェクト」の成果と課題を地域住民と共有するワークショップを2年生が企画運営し、次年度の活動方針を検討した。

日程：2019年9月～2020年3月

参加状況：12名（森藤ゼミ 2年生）

連携先：吉野ビジターズビューロー

※②及び③の事業は、学生が地域貢献と地域住民とのパートナーシップにより、まちの活性化や地域課題の解決を目指した活動を支援する「吉野町協働のまちづくり推進交付金事業頑張ってみよう学生部門」に採択され、「吉野でウルルンホームステイ」事業として吉野町から支援を受けた。

・稲美町活性化プロジェクト

概要：稲美町が持つ魅力ある資源を活用し、稲美町への移住促進を目的とした活動に取り組み、農業体験を含めたイベント提案・運営、及び稲美町住民に対する認識調査を実施。

連携先：兵庫県加古郡稲美町

日程：2019年4月～2020年3月

参加状況：24名（森藤ゼミ 2～3年生）

・Mラボ「課題解決ラボ」

概要：神戸新聞社と兵庫県下中小企業の主催による企業と大学生のマッチングを目指す中核事業で、企業が抱える課題を大学ゼミと企業の若手社員や担当者が協力して調査研究するプロジェクト。本学からは辻本千春ゼミと田中ゼミが参加。

【辻本千春ゼミ】

・マッチング企業：六甲山観光株式会社

・テーマ：「インバウンドではなく、若者をターゲットに六甲山観光誘致をするにはどのようにすればよいか」

【田中ゼミ】

・マッチング企業：六甲バター株式会社

・テーマ：「「ex'fromage KOBE」を神戸の手土産の新定番に！！」

連携先：神戸新聞社、兵庫県中小企業団体中央会

日程：2019年5月～10月

参加状況：2チーム（辻本千春ゼミ 3年生・田中ゼミ 3年生）・参加者総数 19名

・「HYOGO! ナビ」クチコミ発信事業

概要：兵庫県民、観光客がクチコミ投稿でき、それを見た人がコメントできる双方向型の兵庫県公式サイト「HYOGO! ナビ」を活用し、学生自らが兵庫県内の観光スポットを調査し、クチコミを発信する事業。

連携先：兵庫県観光振興課

日程：2019年4月～12月

参加状況：6チーム（井上芳郎ゼミ 3年生・秦ゼミ 3年生）・参加者総数 25名

・兵庫県印刷工業組合・ファミリアとの産学連携プロジェクト

概要：兵庫県印刷工業組合設立60周年記念事業の一環として、株式会社ファミリアの協力のもと「若者の感性による印刷業界の活性化」を目指し、学生が印刷会社の営業の立場となり、得意先（ファミリア）が抱える課題の解決、及び顧客確保のために企画提案を実施。辻本千春ゼミが優秀営業賞、辻本乃理子ゼミが印刷業界賞を受賞。

連携先：兵庫県印刷工業組合・株式会社ファミリア

日程：2019年5月～2019年12月

参加状況：2チーム（辻本千春ゼミ 3年生・辻本乃理子ゼミ 4年生）・参加者総数 6名

・瀬戸内カレッジ

概要：JR西日本・自治体・大学が連携し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクト。本学からは羽藤ゼミが参加。大学生が愛媛と広島を周遊するという発想がない点に着目し、周遊旅行の認知度を高めるためのプロモーション案や地域の魅力向上案を提案。

連携先：西日本旅客鉄道株式会社

日程：2019年6月～2020年3月

参加状況：10名（羽藤ゼミ 3年生）

・六甲バタープロジェクト

概要：六甲バターが販売するQBB商品の新たなターゲット層の獲得を目指し、スポーツの視点を入れながらマーケティング戦略を立案。

連携先：六甲バター株式会社

日程：2019年6月～12月

参加状況：7名（山口志郎ゼミ 3年生）

- ・ケーエスフーズ株式会社との商品開発
概要：新たなターゲット層の獲得に向け、豆腐を生かした新商品（『豆腐チップス』・『豆腐揚げおにぎり』）の提案を実施。次年度は『豆腐チップス』を活用し、販売プロモーションを実施予定。
連携先：ケーエスフーズ株式会社
日程：2019年9月～2020年1月
参加状況：11名（羽藤ゼミ 2年生）

- ・大学生による IR に関する提案・研究発表会
概要：IR がもたらす効果やふさわしい IR 施設等をテーマとして 5 大学（本学・大阪経済大学・四天王寺大学・阪南大学・立命館大学）が参加し企画提案する発表会。本学からは辻本千春ゼミが参加。「『IR』をスマート・リゾート・シティと観光ゲートウェイとするために「交通と観光の視点から」をテーマに、車のコントロールの重要性和大阪湾岸を自転車で 1 周する提案を実施。
連携先：大阪府・大阪市 IR 推進局
日程：2019年10月～2020年2月
参加状況：12名（辻本千春ゼミ 2年生）

④地域交流・連携 活動一覧（2019年度）

- ・トライやる・ウィーク（中学生職業体験企画）
概要：近隣の中学生に 5 日間（9:00～15:30）、流通科学大学内の様々な職業を体験していただいた。
日程：2019年11月11日（月）～15日（金）
参加中学校：須磨北中学校（2名）・太山寺中学校（1名）
- ・学園夏祭り
概要：学園西町連合自治会の『学園夏祭り』が学園都市駅前のユニバードームで開催され、本学の文化会が企画・運営に携わり、文化系クラブの学生を中心に約 100 名が子ども向けゲームコーナーや露店などを出店。吹奏楽団と軽音部はステージプログラムに出演し演奏を行い、会場には子どもからお年寄りまで多くの地域の方々が来場した。
参加団体：文化会、児童ボランティア部 ALL-IN、電脳部マスターシステム、現代視覚文化研究会、RYUKA ESS、写真部 camera obscure、吹奏楽団、軽音部（計 9 団体）
連携先：学園西町連合自治会、UNITY 加盟大学
日程：2019年8月4日（日）